

2021.10.27 第2回事業検討委員会 資料

公開シンポジウムの開催

テクノフェスタ実行委員
(コンソーシアム事務局)

農研機構 農業機械研究部門

杉本 光穂

- 農業食料工学会が開催する**「テクノフェスタ」**（12月10日開催）と合同で行う。
 - ✓ 「テクノフェスタ」とは
農業機械、農業施設及び農業機械化に関する学術の進歩発達を図ることを目的とする中、1996年より農業・食料機械関係の企業、大学、研究機関を対象に、社会・農業・技術開発の情勢をテーマに取り入れながら、産官学が一体となって開催する年1回のシンポジウム
 - ✓ 本年度の「テクノフェスタ」はオンラインで行い、当日は原則事務局と座長が農機研（さいたま市）に集合する。
 - ✓ 後日YouTube配信（約1週間）を行う。
 - ✓ 申し込み 11月1日から11月30日（専用HP11月1日開設）

- **農機API共通化コンソーシアムとして**
 - ✓ 本年度のテーマはオープンAPIに関連づけて
「農業データ連携の実現による農業・食料の未来」
 - ✓ テーマに沿った**基調講演**とオープンAPIに関する**特別分科会**を開催する。
 - ✓ **基調講演、オープンAPI 特別分科会への参加は無料。日英同時通訳。**
※受賞講演及び他の分科会への参加は有料（一般学会員1000円、一般非会員2000円）。
 - ✓ 講演者等は希望すれば当日農機研にて参加。

テクノフェスタのプログラム



9:45	開会式			
10:00	開発特別賞・開発賞受賞講演(2hr:休憩含)			
12:00	昼休憩			
13:00	基調講演(1hr)			
14:00	API特別分科会 (1.5hr)	自動運転分科会	生物資源分科会	国際交流分科会
15:30	休憩			
15:45	API特別分科会 (1.5hr) 話題提供者同じ	情報連携システム 分科会	フードチェーン 分科会	農業機械分科会
17:15	閉会式			
17:30	エクステンションディスカッションタイム (分科会単位)			

➤ 基調講演（1時間）

座長 澁澤 栄（国立大学法人東京農工大学 特任教授）

✓ オープンサイエンスから見た農業データ連携と地域との調和（仮）

村山泰啓（国立研究開発法人情報通信研究機構

ナレッジハブ研究統括・ナレッジハブ長（兼））

➤ オープンAPI 特別分科会（1時間30分）

座長 小田 志保（農林中金総合研究所 主任研究員）

✓ 米国におけるデータを活用した農業の実際（その運用やデータ管理の仕組み）（仮）

Mr. Ben Craker（President , Agricultural Data Coalition （米国））

✓ AgGateway Asiaから見た日本におけるデータを活用した農業の実際（仮）

濱田安之（(株)農業情報設計社 代表取締役）

上記2名の話題提供者に村山氏が加わり、パネルディスカッションを行う。

※オープンAPI 特別分科会は1時間30分の分科会を2回行うが、2回とも話題提供者は同じ。

➤ エクステンションディスカッションタイム（分科会単位：30分）

話題提供者・座長を中心にフリーディスカッションを行う。

他の分科会の内容



自動運転分科会	テーマ：GNSSのみによらない自動運転技術 ・つくばチャレンジにおけるGNSSに頼らないロボットの自律走行（千葉大学 大川一也） ・3D-Lidarを用いた農用車両の自動走行（東京大学 海津 裕）
生物資源分科会	テーマ：スマート技術を活用したバイオガスプラントの高度利用 ・脱炭素社会に向けた農村地域エネルギーマネジメントシステム（VEMS）の動向と展望（農研機構 農村工学研究部門 石井 雅久） ・バイオガス発電の高度化（仮）（北海道大学大学院工学研究院 石川 志保）
国際交流分科会	テーマ：アジアにおける持続的（あるいはスマート）農業・食料供給システム ・データ駆動型インドネシア農業システムを強化するための"選択的"機械化技術の概要（Universitas Gadjah Mada Lilik Soetiarso） ・タイ国内におけるポストハーベスト技術の現状（King Mongkut's University of Technology Thonburi Varit Srilaong）
情報連携システム分科会	テーマ：WAGRIへの取り組み状況および課題 ・三菱マヒンドラ農機MITサービスの情報連携機能について（三菱マヒンドラ農機株式会社 岸保 健生） ・WAGRIの活用状況に係る情報提供（仮）（NECソリューションイノベータ株式会社 榎 淳哉） ・農業データ連携の現状（(株)サタケ 池田信義）
フードチェーン分科会	テーマ：食品・農産物の非破壊計測と新たな試み ・空間的スペクトル分解法を用いた食品成分分析（筑波大学 粉川 美踏） ・分子間振動モードを活用した農産物内のデンプン計測（神戸大学 中島 周作） ・短波長赤外（SWIR）画像と深層学習によるバレイショの外部欠陥種別の分類（京都大学 斎藤 嘉人）
農業機械分科会	テーマ：スマート農業時代の生産性向上を担う農業機械 ・樹脂製テープを用いたトマト用接ぎ木装置の開発（農研機構 農業機械研究部門 中山 夏希） ・直進アシストシステム搭載小型トラクタRTSの開発（井関農機株式会社 武井 祐） ・自動運転田植機を活用した生産性向上の実証（茨城県農業総合センター農業研究所 古渡拳人）